


自分が本当に やりたかったこと



吉祥寺.pm 35

誰？

Kunihisa Abukawa 

情報源の表示 

[連携について詳しくはこちら](#)

I am software engineer. It is never too late to start something. But life is not long enough to wait for you to start. So, it is now only to start. Keep it laughing for those who want to laugh. The first step to take now is more precious than anything else. <https://kabukawa.github.io/>



<http://b.hatena.ne.jp/kabukawa/bookmark>

<http://b.hatena.ne.jp>

<https://kabukawa.github.io>

<https://medium.com/@kabukawa>

<https://resume.kabukawa.biz>



📍 Tokyo, Japan

🏢 バックエンドエンジニア

🏢 エメラダ株式会社

👤 OSSシルバーコントリビューター

🐦 4989フォロワー 4187フォロワー

🔗 1フォロワー 2フォロワー 12レポジトリ

📝 1フォロワー 0投稿数

- エメラダという会社でエンジニアをしています
- 主担当はインフラですが、割と何でも屋です
- SNSではkabukawaと名乗ってます

<https://lapras.com/public/kabukawa>

何かを始めるのに遅すぎるということはない。
しかし、始めるのを待ってられるほど
人生は長くはない。

だから、始めるのは今しかない。
笑いたい人のために、笑っていよう。
今踏み出す一歩は、何よりも尊い。

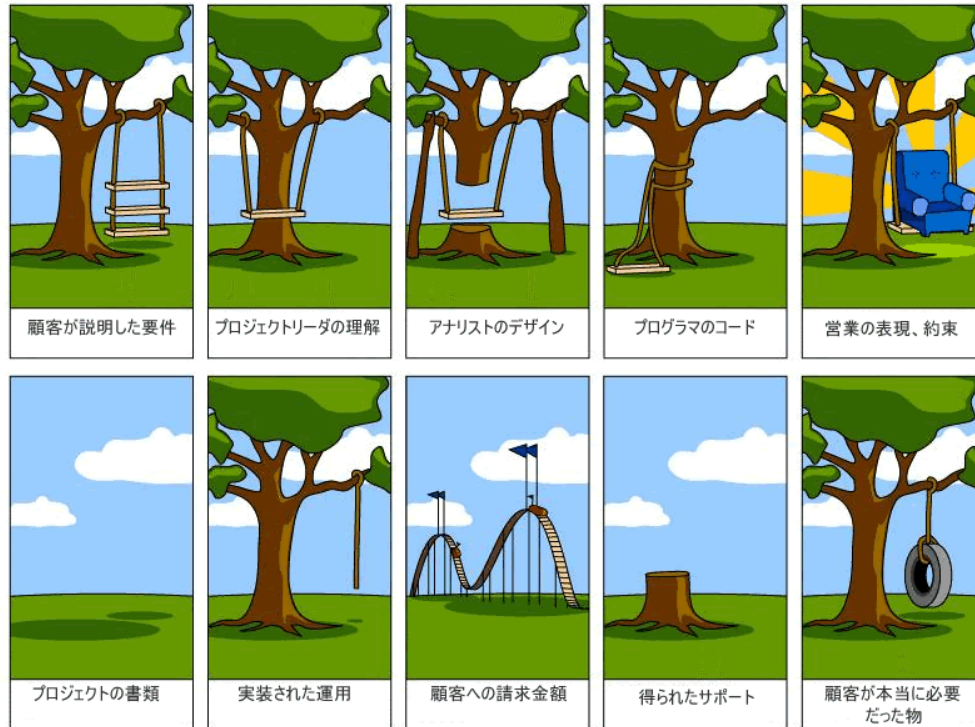
いい事書いてんな、俺

今回のトークは
2021年7月の [吉祥寺.pm](#) 27 の
LT で喋った「転職した話」の
続編のようなものです。
今はどんな事をやっていて、
何をしたいのか、
みたいな事を話したいと思います。

話すこと

- 自分が会社でやってきたことを話します
 - 成功ばかりではないです
 - 自分だけでやったことでもないです
- 少しでも役に立つことができれば、
という想いを持っています

顧客が本当に必要だったもの



作りたい文化

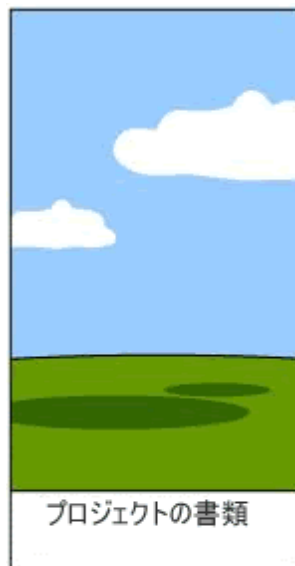


- 考えてを言語化して文書に残す
- 自分の知識を発信して共有する
- まずは一步を踏み出す
- 個人技ではなくチームで対処する

テーマ

今年を振り返って
やったこと
やれなかったこと
やるはずだったこと

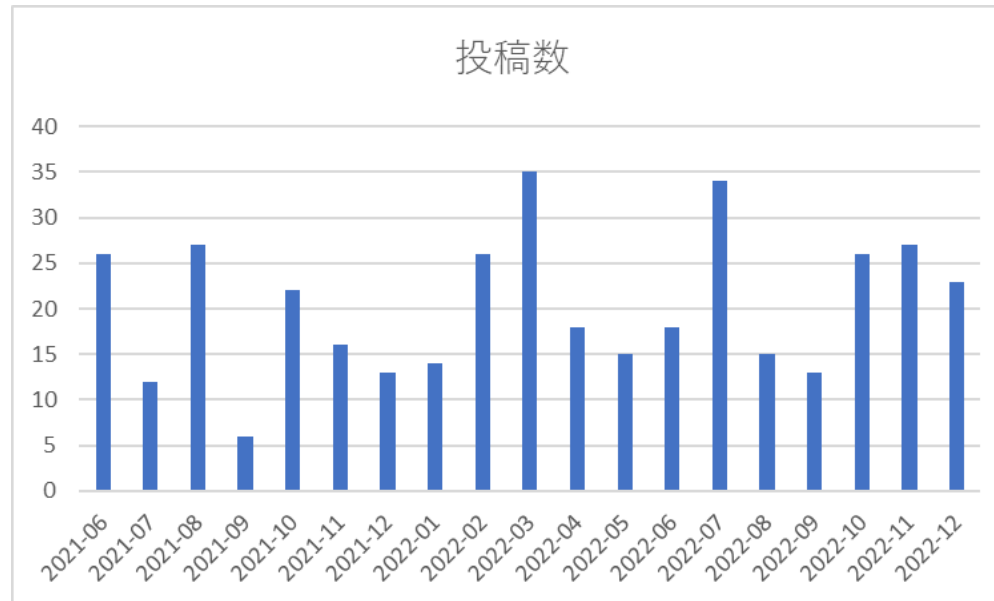
ドキュメント



困っていたこと

- Docbaseでドキュメントを管理していた
- 入社時には必要なドキュメントが無かった
- 引き継ぎもなく自分で調べるしか無かった
- 人が増えていくと個別に教える時間が取れない

書きまくった



- やったことをひたすらドキュメントに残す
- 自分の外部記憶として
- 後から入る人が同じ思いをしないように

<https://kabukawa.hatenablog.jp/entry/2023/01/03/003116>

突然のNotion

- Notion最近流行ってるという話はした
 - 色々出来そうだし良さそう
- 今年2月、Notionへの移行計画爆誕
 - エンジニア以外はMarkdownも辛い
- 1週間で移行という無謀な計画
 - API有るみたいだし、簡単でしょ

なんとか移行はした

- Docbase→JSONでエクスポート
 - Markdownだとタグとかの情報が無い
- JSONをMarkdownに変換(jqとShell Script)
 - 画像部分のリンク変換
 - タグの埋め込み
- NotionにMarkdownインポート
 - 100文書くらいずつ(一括だとエラーになる)

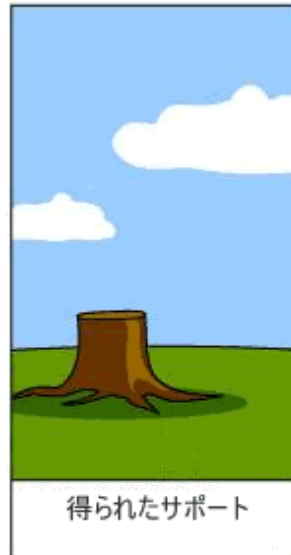
無理だったもの

- 画像のインポート
 - 画像インポートのAPIは非公開のもの
 - それを使うOSSのライブラリも不安定
 - レート制限でだいたい失敗
 - 重要なもののみ手動で張替え
- 添付ファイル
 - ファイルはGoogle Driveに

移行してどうなったか

- 以前よりドキュメントが書かれるように
 - ワープロ感覚で書けるのが良いみたい
- GitHubと組み合わせてチケット管理も
 - 全部が1箇所に集約されつつある
- 以下の2つは進展が有った
 - 考えてを言語化して文書に残す
 - 自分の知識を発信して共有する

勉強会/発表会



きっかけ

- 開発の事情でエンジニアが増えた
 - 5月6月で20→50人
 - スキルもバラバラ、背景もバラバラ
- 基本的にはフルリモート
 - オンボーディングが難しい
 - 話のきっかけ、知識の共有をしたい

最初は雑談から



- SpacialChatによる仮想オフィス
 - 業務時間中は常駐するルール
 - カメラ/マイクはオフが良い
- 週に1回、30分間の雑談タイムから開始

社内勉強会

社内勉強会でもやってみる会

≡ チーム DEV INF
≡ 所属プロダクト KY MB ANTN
📅 Date 2023年5月8日 → 2023年12月29日
👤 ユーザー 未入力
▼ さらに7件のプロパティ

概要

日々の作業に追われて新しい技術や考え方のインプット/共有の機会が取りづらいと思うので、それを補う機会として社内の勉強会でも始めてみようか、という試みです。

とはいえ、いきなり話をしろというのは準備も大変だと思うので、最初は既に公開されている勉強会の動画などを見ながら感想を言い合うみたいなのから始めて、徐々にLTやったりしていければと考えています。

内容

#	内容	資料/メモなど
第1回	🟢テーマ：自動テスト 「サバノ便利〜自動テストに関する連載で得られた知見のまとめ〜」 t_wada (和田 卓人)	📄 勉強会 #1
第2回	🟢テーマ：プロダクト開発 「価値をすばやく届けるための改善」 吉司 龍太郎	📄 勉強会 #2
第3回	🟢テーマ：Github Copilot AIベアプロで高速コード開発！使ってみよう Github Copilot IoT / Data / AI 編 10 自然言語処理が得意な OpenAI API で遊んでみよう！ 〜(仮) Azure OpenAI Service 提供開始 IoT / Data / AI 編 11	📄 勉強会 #3
第4回	🟢テーマ：Ruby on Rails DHHが語る、エン지니어として成長し続けるための鍵 DHHが語る、Railsの強みとは？ Hotwireとの関係に迫る。 DHHが語る、大規模なRailsアプリケーションにおけるチーム開発	📄 勉強会 #4
第5回	🟢テーマ：Fintech フィンテックトレンド 2023〜フィンテック養成勉強会 # 26	📄 勉強会 #5
第6回	🟢テーマ：チームトポロジー チームトポロジーを成功させる実践方法の探求 - Team Topologies Study	📄 勉強会 #6
第7回	🟢テーマ：ドキュメント	📄 勉強会 #7

- いきなり発表せよというのは無理
- 週に1回勉強会の動画をみんなで見ると
 - 当日参加できなくても好きな時に見られる

アドベントカレンダー



- Notionのカレンダービューを使って実現
- 期間指定して Advent タグを付けて区別
- 通常ドキュメントなのでナレッジ蓄積にも
- ヘッダー画像は勝手に使いました(すいません)

その他にも

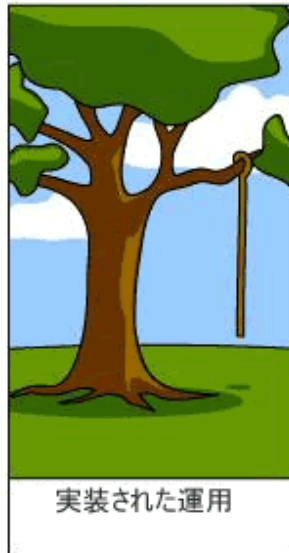


- ビブリオバトルをやってみた
 - [Mentimeter](#) で資料作成と投票
 - 次回は優勝者に賞品を出したい

始めてみてどうなったか

- エンジニア同士の会話は増えた
- Slackでの情報共有も活発になった
- ペアプロ会とかも始まった
- 動画視聴ではなくITを試してみようという機運も
- まずは一步を踏み出すことはできたと思う

チーム



チームの状態

- インフラチーム
 - インフラ構築と運用周りを担当
 - 障害調査/対応、運用、構築
 - 3つのサービスを見ている
 - 少人数でスキルや知識が個人に依存
- チームに人が増えた
 - 1月：2人/3月：3人/5月：4人/8月：6人
 - 今まで出来なかったことができるように

個人メンションを止めた

- 個人に依存した作業は辛い
 - 休めない
 - 個人への負担が重い
- チームへのメンションに変更
 - 他のメンバーが何をしているか気付ける
 - 依頼のロストを防げる
 - チームとして取り組んでいるという意識
- とはいえ個人への依頼もある
 - 個人メンション+チームメンション

チームノート

Platform Infrastructure's Team Note

チーム	DEV INF
関連プロダクト	KY MS ANTN
タグ	実例/MTG team note
オーナー	AbukawaKunihisa
メンバー	TateshimaHiroto AbeYuki KanekoTsubasa OhyamaAkira SurugaYuri
関連プロジェクト	インフラ(2023/3Q)
Google Drive ファイル	未入力
ユーザー	未入力
さらに4件のプロパティ	

まず読む

- 📖 README: 開発者の心得

HRTの精神

ソフトウェア開発はチームスポーツである

- 謙虚 - Humility
 - 世界の中心は君ではない。君は全知全能ではないし、絶対に正しいわけでもない。常に自分を改善していこう。
- 尊敬 - Respect
 - 一緒に働く人のことを心から思いやろう。相手を一人の人間として扱い、その能力や功績を高く評価しよう。
- 信頼 - Trust
 - 自分以外の人は有能であり、正しいことをすると信じよう。そうすれば仕事を任せることができる。

健全な対話とコラボレーションを実践するには、三本柱となるソーシャルスキルを身につける必要がある。これらをHRT（ハート、心の heart の方）の精神と呼ぶ。

あらゆる人間関係の衝突は、謙虚・尊敬・信頼の欠如によるものだ

チームの目指す姿

- 個人芸ではなく**仕組み**で問題を解決していく
- 問題に対処するのではなく**予防**することで解決する
- 誰かがやってくれるのではなく、**自分たちがやる**
- 今の自分の行動**が未来の誰かを救うことになる

- チームでやること/やらないこと
- チームで達成したいこと

ドキュメントリンク

canvas

🏠 ⋮ ✕

👤 インフラチーム 👤

📝 チームノート

Platform Infrastructure's Team Note

🗨️ 依頼について

こちらのチャンネルで @infra 宛にメンションを頂ければ適切な対応者が反応します。個別のメンバーに対する依頼であっても、そのメンバーが休暇やシフト勤務をしている場合があるので @infra をメンションに含めてください。

📋 各種手順

チームに作業依頼をする前に、各種作業向けのドキュメントがありますので、お問い合わせ前にご確認頂けると有り難いです。

全般

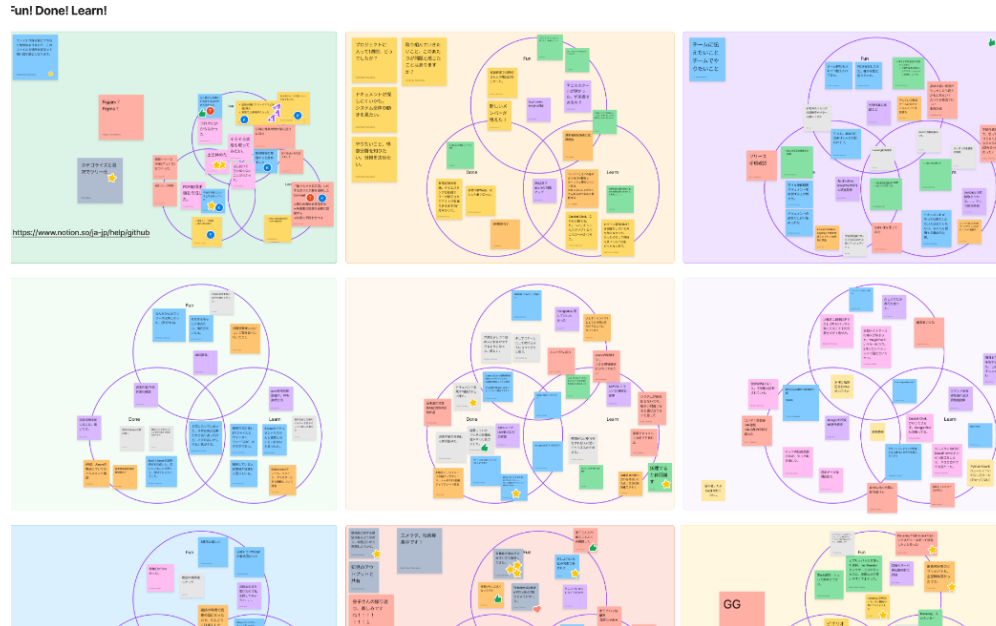
- インフラFAQ(Kyell編)
- 発行されたアカウントへのログイン等の手順
- VPN接続設定(エメラダ直契約の人のみ)
- Google Driveの権限について
- インフラ関係メモ

Kyell

- AWS環境を使いこなすはじめの一步 for Kyell
- AWS cliの設定方法(簡略化)
- 踏み台の起動/停止
- Kyell インフラ周り確認用コマンド集
- 商用環境アカウント払い出しについて
- Kyell IAMユーザー利用状況一覧
- CloudWatch Logs Insights のクエリ

- ドキュメント見れば分かるものはリンクで
- よく使うドキュメントは更新もされやすい

振り返り



- チームで振り返りができるようになった
 - Fun Done Learn
 - 週末の締めにやるので楽しく

どうなったか

- チームとして対応する意識が強くなった
 - 協力する/共有する/共感する
 - 個人技ではなくチームで対処する
- 情報共有が大事という思考
- メンバーへのリスペクト
- 手順化/自動化への取り組み
- スキル向上への関心

うまく行かないことも

- 突然の退職/異動
 - パートナーのメンバーだと遺留も難しい
- フェーズの変化
 - 大きな開発が終わったことによる体制縮小
- 忙しくなると手が回らない
 - 自動化より目の前のことへの対処
- コードが書けないと自動化は難しい
 - どうやってスキルを上げていくか

やるはずだったこと



テックブログ

- 外部への発信
- 採用
- 知識の共有

ISUCON参加

- スキルの底上げ
- チームとして協力する
- 外部への発信

技術書典などへの参加

- 外部への発信
- 考えていることをまとめる力
- 発信すべきことは何か

まとめ



色々やったけど

- やっとスタートラインに着いたところ
 - すぐに素晴らしい結果は出ない
 - それでも一歩踏み出してみる事が大事
- 自分だけでできることなんて無い
 - 信頼関係をどうやって築いていくか
 - みんなでやればできる
- 最後は楽しく

一句

君とならきっ　と行けるよどこまでも

ご清聴ありがとうございました

